Panasonic®

取扱説明書

電動ハイブリッド自転車

品 番 BE-EHT63

（上手に使って上手に節電）

※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、電動ハイブリッド自転車「**キュート ViVi**」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡し願います。
お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。
新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。

保証書別添付

● **保証書**は、**「お買い上げ日、販売店名」**などの、ご記入を必ずお確かめください。（記入がない場合は、無効となります。）
● 必ず、販売店で**防犯登録**をしてください。（法律で義務付けられています。）

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口へ

最新のお客様ご相談窓口はホームページをご覧ください。

ナショナル自転車工業株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

NYT782 G0205-1025

〈電動ハイブリッド自転車とは〉

『キュート ViVi』は、電動補助システムが付いた電動ハイブリッド自転車です。
電動ハイブリッド自転車は、普通の自転車と異なった部分があります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく、安全、快適にお乗りください。

◆『キュート ViVi』の特長

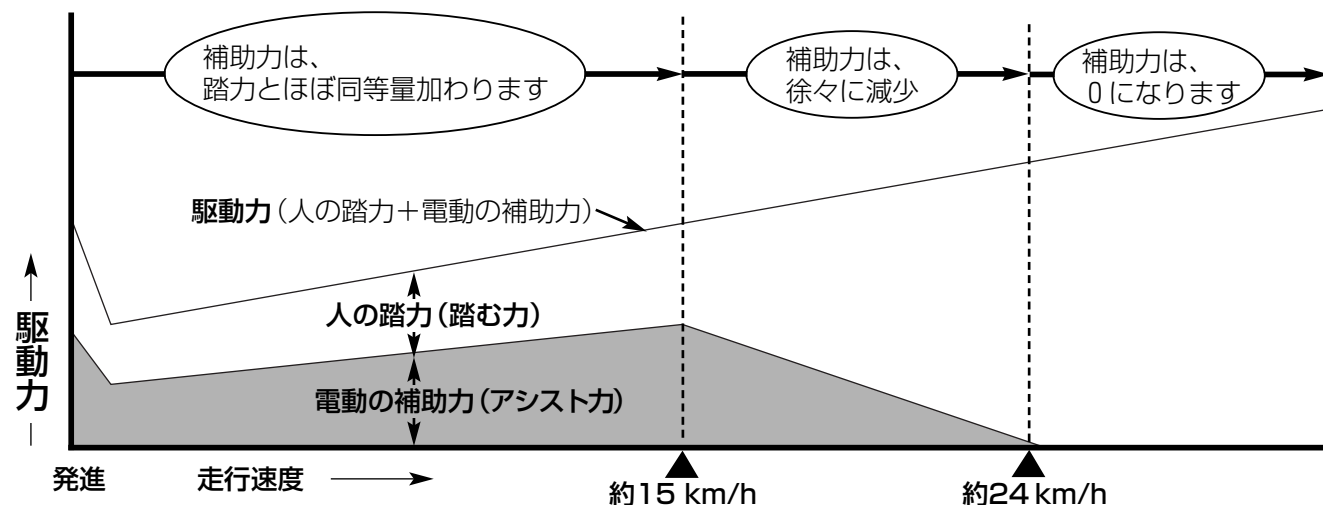
① 免許証が不要です。
『キュート ViVi』は、運転免許証無しで乗ることができます。

② 電動補助力の働きで楽に乗れます。
上り坂や向い風、荷物を積んだ時などに電動補助力の働きで楽に走れます。
☆ 乗る人の踏力、道路の状況、積載荷物の重量等の条件により楽になる度合は個人差があります。

③ バッテリーが切れても、普通の自転車として走行できます。
乗りやすく、こぎやすい、人にやさしい設計がなされています。

④ アシストモード切替機能が付いています。
ペダルを踏む力や走行する道路の状況に応じて、モーターの補助力を選ぶことができます。

●電動補助力（アシスト力）の働きと大きさの変化

ペダルを踏むと瞬時に、補助力が働き、自転車の約半分の踏力で走行できます。
電動補助力の大きさは、変速位置、走行速度により変化します。

手元スイッチのアシスト切替ボタンが「標準」モードの時は、補助力が「強」モードより弱くなります。
※走行距離の目安は業界の基準で測定しています。詳しくは、19ページをご覧ください。

●次のようなときはアシスト力が働きません。

○時速が24km/h以上のとき。
　変速段数によっては、24 km/h以下でアシスト力が働かない場合があります。
○ペダルを踏む力が弱いとき。
　ペダルの回転を止めているとき、自転車が停止しているときもアシスト力は働きません。
○バッテリー残量がなくなったとき。
　バッテリーの残量が少なくなると、残量表示ランプが早く点滅します。

もくじ

はじめに

●安全上のご注意（1）（2）（3）…… 4
●各部のなまえ（1）（2）…… 9

充電のしかた

●充電しましょう …… 12

乗るまえに

●乗るまえの点検 …… 14
●乗るまえの調整 …… 16
●乗るまえの確認 …… 18
●乗るまえの確認（走行距離の目安）…… 19

乗りかた

●さあ、乗りましょう（1）…… 20
●さあ、乗りましょう（2）（変速機とアシストモードの使いかた）…… 22

乗ったあと

●乗ったあとの駐 輪・施 錠（リフレッシュ充電機能）…… 24

必要なとき

●バッテリーについて …… 26
●お手入れと保管、廃棄 …… 26
●注油について …… 27
●定期点検／アフターサービス …… 28
●基準適合TSマーク …… 29
●故障かな？! …… 30
●仕　様 …… 32

安全上のご注意(1) 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

本体

警告

■サドルやハンドルは「引上げ限界線」が見える状態で乗らない

サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突のおそれがあります。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

分解禁止

部品の破損や、ブレーキが効かなくなって転倒や衝突のおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

歩行者などに危害をおよぼすおそれがあります。

ハブステップ

■調整後の締め付けを確認せずに乗らない（車輪の脱着やサドル・バッテリーライトなど）

車輪などが、外れて転倒のおそれがあります。

バッテリー（電池）

危険

■火中に投げ入れたり加熱しない

■分解や改造はしない

■他の機器に使用しない

■(+)と(-)を金属等で、接触させない

■充電には、専用の充電器を使用する

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

警告

■水を入れたり、水中に投下しない

端子部から水を入れるとショートして、発熱の原因に、また、水中に投下すると電池機能を失い、使えなくなります。

■傷ついたまま使用しない

ケースなど、破損したまま使用すると漏液や発熱の原因になります。
●お買い上げの販売店で点検をうけてください。

充電器

危険

■分解や改造はしない

■衝撃を与えたり、落下や水濡れをさせない

■専用電池以外の充電には、使用しない

発熱、発火、電池の液漏れ、感電のおそれがあります。

発熱、発火、感電のおそれがあります。

警告

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・発火の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■幼児やペットが触れる所に放置しない

感電・けがの原因になります。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。

■充電端子や電源プラグのほこり等は定期的にとる

ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

注意

■充電中は長時間、皮膚の同じ場所で触れない

充電中は、40～60℃になる場合があり、低温やけどのおそれがあります。

■充電器は不安定な場所に設置しない

コードが引っぱられると故障や、発火、感電のおそれがあります。
●平坦な場所にしっかり設置してください。

■充電中はカバーをしたり、上に物を置かない

内部が発熱し、発火のおそれがあります。

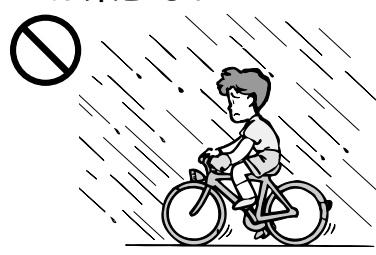
安全上のご注意（2） 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、交通ルールを守りましょう。

こんな乗り方は、やめましょう！

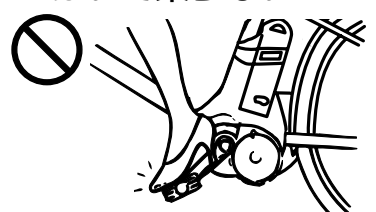
■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない
（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

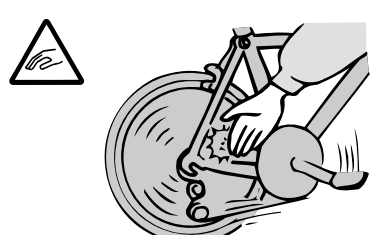
■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒するおそれがあります。

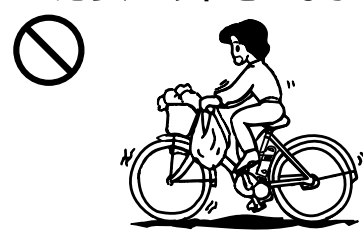
■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

足がペダルから外れ、転倒のおそれがあります。

■運動機能が低下するものを摂取したときは、乗らない
（アルコールや、かぜ薬など）

意識が薄れ、衝突などのおそれがあります。

■回転物に手を触れない
（ギヤ・車輪・チェーンなど）

手を巻き込まれるおそれがあります。

こんな走り方は、やめましょう！

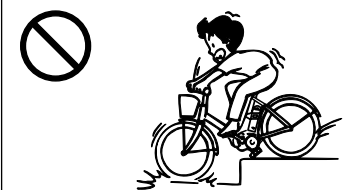
■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩すおそれがあります。

■滑りやすいところでは乗らない
（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

■凹凸の激しいところを走らない
（歩道の段差や、溝など）

フレームや車輪の損傷や転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

■車の横を走るときは、注意する

駐車や停車中の車のドアが急に開いたり、車の陰から人や動物が、出てくることがあります
●安全を確認し、走行してください。

■夜間や視界の悪いときは、無灯火で乗らない

衝突や転倒するおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での乗車は、法律違反になります。

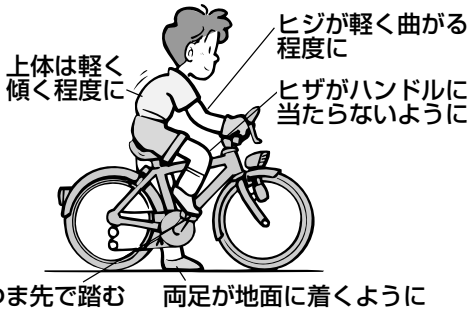
道を走るときに必要なルールです。　まず、これだけは覚えておきましょう。

■走行以外に使わない
（踏み台代わりなど）
転倒するおそれがあります。

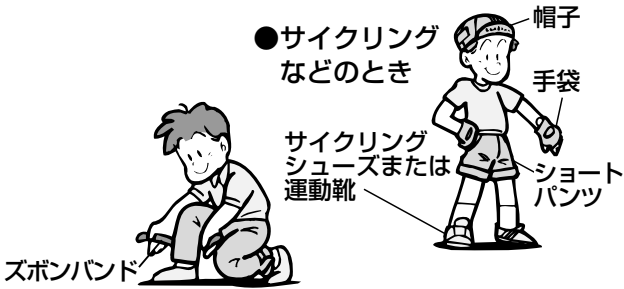
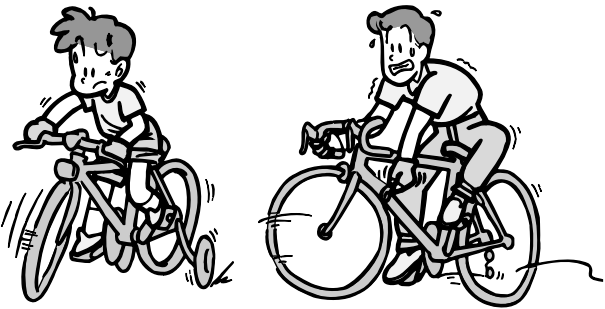
■スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない
車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

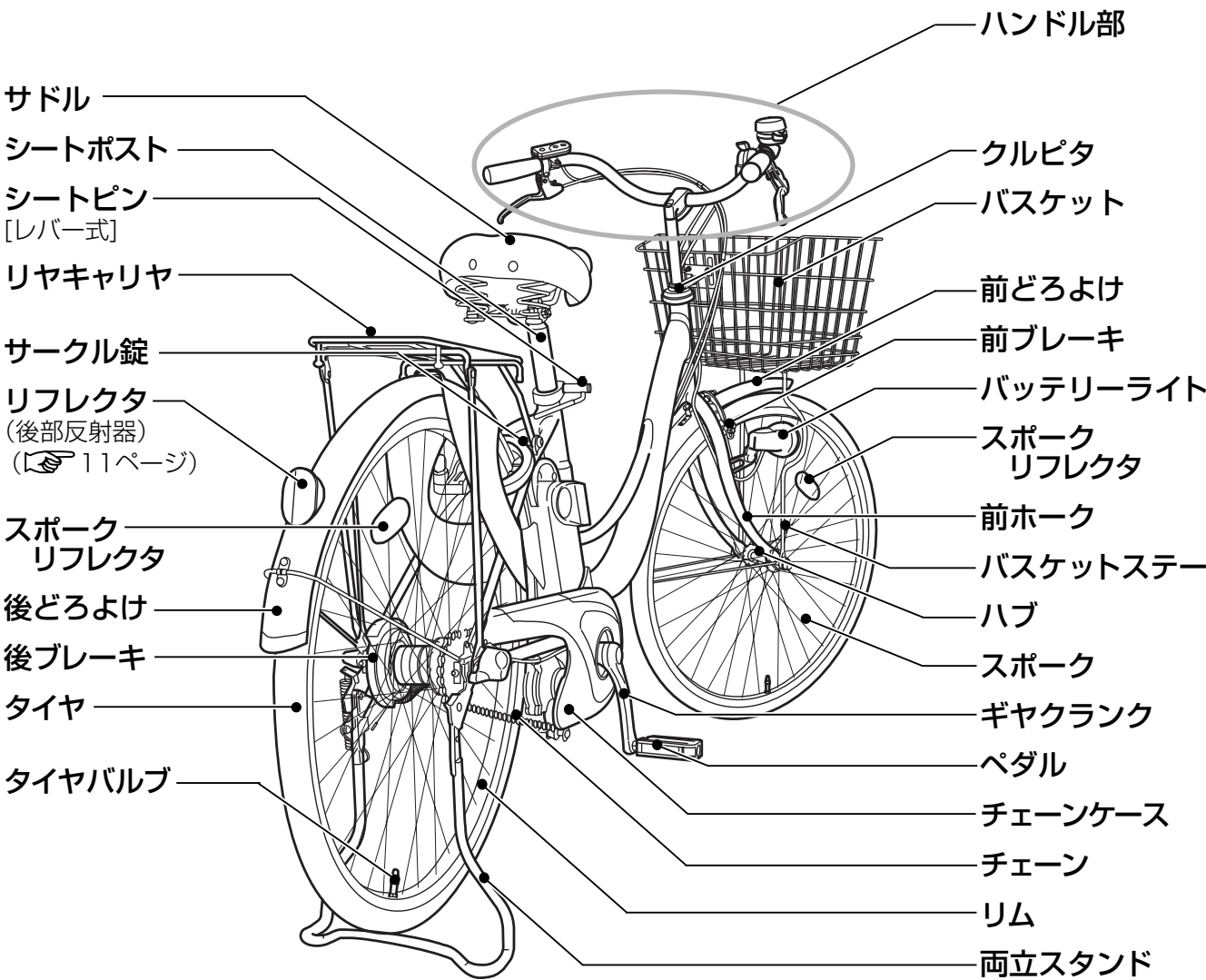
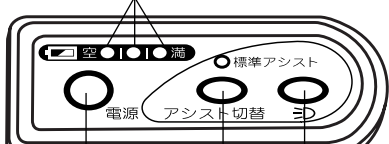
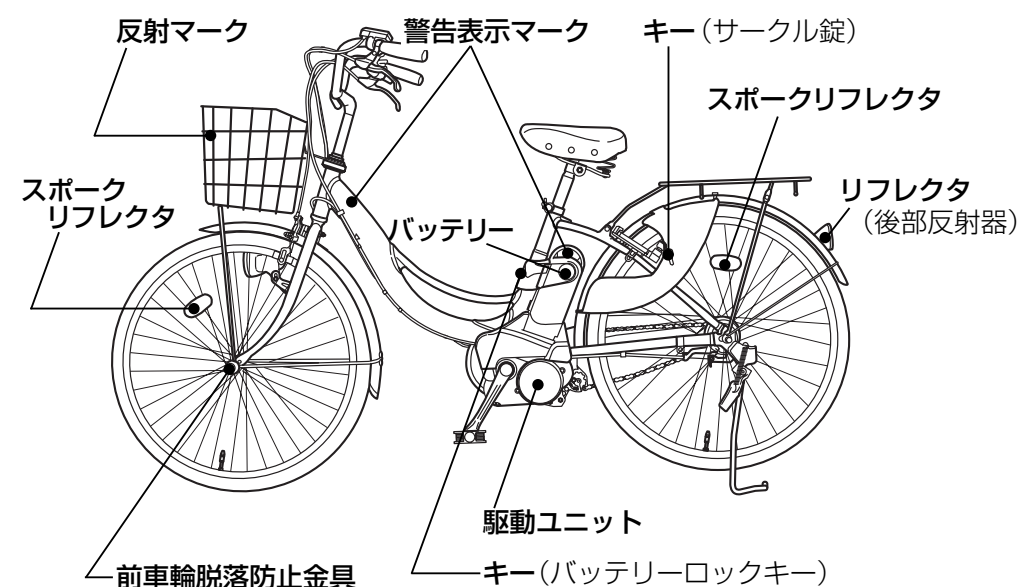
安全上のご注意(3) 必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせる
●図のように販売店で調整してもらう
●操作して確認する
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

必ず点検を
●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

わからないときは
●販売店に相談してください。

正しい服装で(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●チェーンやギヤがむきだしの自転車に乗るときは、必ずズボンのすそをズボンバンドで止める。
ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへのひっかかり等を防止するため。

乗る練習は
●練習する場所は
空地や公園など安全な場所で.
(よく練習してから一般道路でお乗りください)
●幼児が乗るときは
必ず保護者の方がつきそってください。

■乗ったあとは
●駐輪する時は、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。
●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

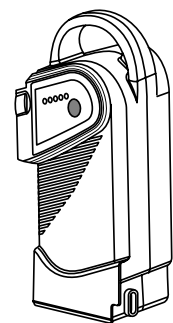
各部のなまえ(1)

■手元スイッチ

各部のなまえ（2）

■警告表示マーク

上パイプ上部

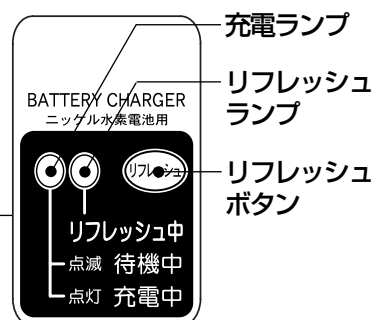
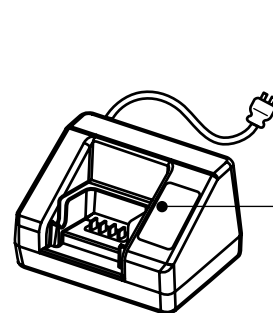
⚠警告
破損や転倒の恐れあり
■各部にがたやユルミのあるときは乗らない
■ハンドルやサドルは限界表示より上げて乗らない

バッテリー上部

⚠警告　落下のおそれあり
バッテリーを支えてから
バッテリーロックキーをまわす

■バッテリー

バッテリー残量表示ランプ
（☞18 ページ）

●充電のしかた
（☞12～13・25 ページ）

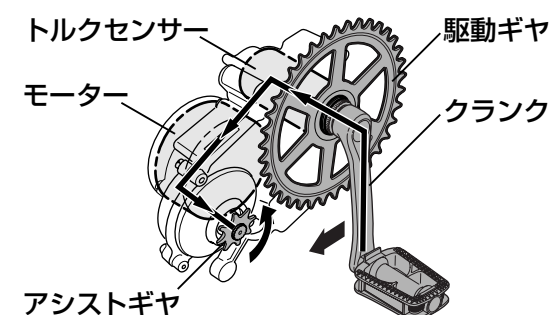
■充電器

■キー（バッテリーロックキー/サークル錠）

お願い

●キーの番号は、控えておいてください。
（保証書のキー番号欄とこの説明書の31ページの記入欄に記入できます。）
キーを紛失されても、番号がわかればスペアキーをお求めいただけます。
販売店にご相談ください。

お知らせ

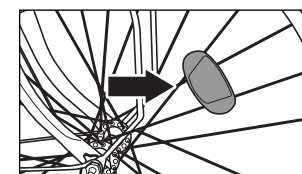
●サークル錠のみ交換された場合は、キーが2種類になります。

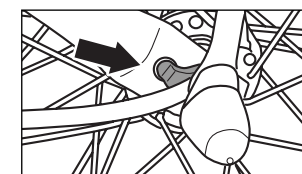
■駆動ユニット

ペダルの踏力を、クランクを通じてトルクセンサーで感知し、最適なアシスト力をモーターからアシストギヤへ伝えることにより、快適なアシスト走行を実現しています。

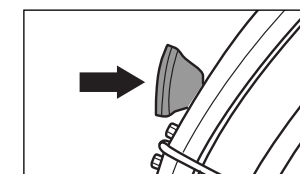
⚠警告

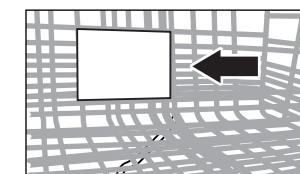
🚫安全装置や警告表示マークは取り外さない
外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

■安全装置

スポークリフレクタ

横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具

前車輪の脱落を防止します

リフレクタ（後部反射器）

後からの光を反射します

反射マーク

前からの光を反射します

※リフレクタ及び反射マークが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。

■警告表示マーク

上パイプの上部、バッテリーの上部の2カ所に貼付しています。

お知らせ

●警告表示マークがはがれたりなくなった場合は、販売店かお客様相談窓口にご相談ください。

■品番マーク

このマークは法律上、自転車として認定されたものです。
取り外さないでください。

品番	BE-EHT63G
型式	EHT63
駆動補助機付自転車型式認定番号	交 N04-38
普通自転車型式認定番号	交 A04-38

（品番マーク）

■基準適合TSマーク

このマークは、道路交通法の規定に適合し、国家公安委員会の型式認定を取得した製品にのみ表示されるもので、安心して自転車としてご利用頂ける証明です。
（工場出荷時に貼付しているTSマークには、保険は付帯されていません。保険付きは29ページ参照。）

■車体番号（刻印位置）

防犯登録に必要で、9文字（数字と英字）で表示しています。

●この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会がJIS（日本工業規格）をベースにDIN（ドイツ規格）など海外の規格や粗悪自転車による自転車事故事例等を踏まえて、消費者の安全第一を考えて定めた基準です。

■BAAマーク

「BAAマーク」は、自転車安全基準に合格した自転車に貼ることができるマークです。
「BAAマーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※BAA=自転車協会認証―BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

充電しましょう

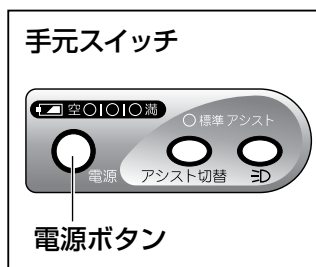
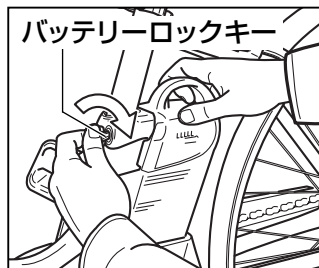
充電には、
- **通常充電**（バッテリーが消費した場合の充電）と、
- **リフレッシュ充電**（バッテリーの性能を回復させるための充電）の、2種類があります。**（25ページ参照）**

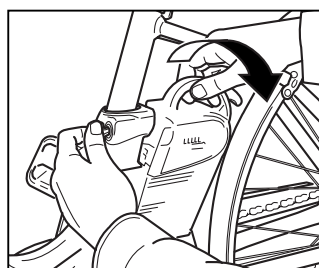
なお、バッテリーを車体から取外さなければ、充電はできません。

■通常充電

1

電源が切れていることを確認する。
（全ランプ消灯）
※電源を切らないとトラブルの原因になります。

2

バッテリーを支えながら、
バッテリーロックキーを時計方向に回し、

3

バッテリーをゆっくり手前に倒して

4

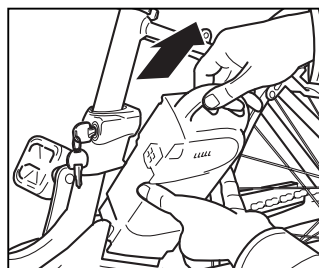
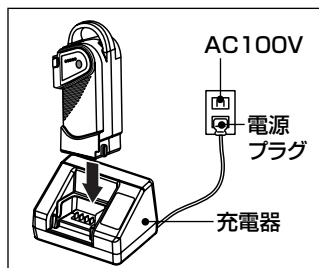
両手で支えながら引き上げて外す。

5

電源プラグをコンセント（AC100 V）に差込み、
充電器にバッテリーを奥まで押し込む。

バッテリーは酷暑、酷寒、衝撃を避けるのが上手な使い方です。

6

BATTERY CHARGER
ニッケル水素電池用
充電ランプ
リフレッシュランプ
リフレッシュボタン
リフレッシュ中
点滅 待機中
点灯 充電中

充電器の充電ランプの点灯（赤色）を確認する。
※リフレッシュ充電の方法については、25ページをご覧ください。

充電ランプ **約1.5 時間後**

赤色点滅（待機中） → **赤色点灯（充電中）** → **消灯（充電完了）**

（充電時間は、アシストがなくなるまでバッテリーを使用したときの目安です。）

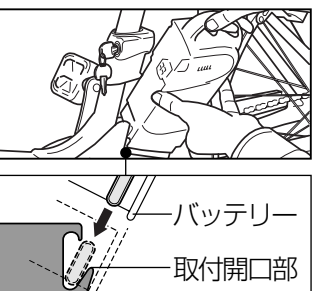
お願い
- 赤色点滅が5 秒以上続く場合は、30 ページの「充電できない」を見て対応してください。

7

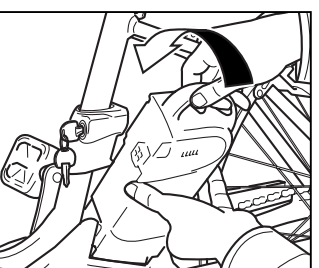
充電ランプの消灯を確認後、充電器を押さえながら
バッテリーを外した後、コンセント（AC100 V）から
電源プラグを抜く。

8

バッテリー
取付開口部

取付開口部の底にバッテリーのカドを乗せる。

9

バッテリーを「カチッ」と音がするまで、垂直に起こす。
（バッテリーのカドを支点にして、弧をえがくように起こす。）

お願い
- **装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。**

お願い **バッテリーを長くお使いいただく為のポイント。**

- **初めて乗る時や1ヵ月以上乗られていない場合は、必ず充電してください。**（出荷時は、充電していません。）
- **充電時の周囲温度は、0℃～30℃の場所で充電してください。**
  （バッテリー内の温度が、0℃～40℃以外の場合は、充電器が待機状態になり、充電できません。）
- **充電器には、水やほこりがたまらないよう、ご注意ください。**
- **充電器は、必ず、保護シートを外し、外装箱から出して、ご使用ください。**
  （充電中の熱のため、ケース等が変形するおそれがあります。）
- **満充電直後の再充電は、お避けください。**
- **使用しなくても、3ヵ月に一度は充電してください。****（26ページ参照）**

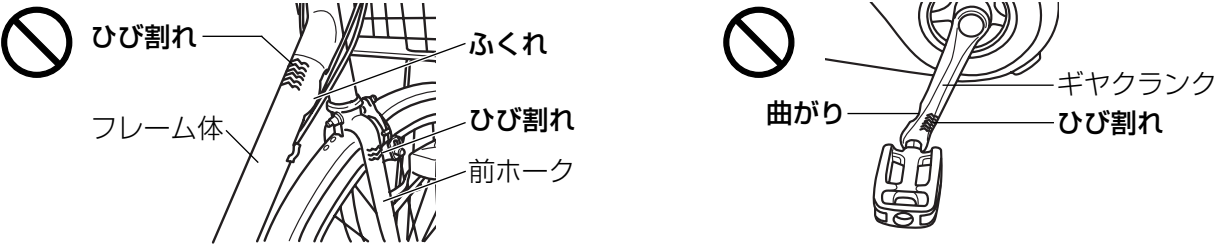
お知らせ
- リフレッシュ充電をしても、走行距離が著しく短いときは、 バッテリーの寿命と考えられます。
  新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーは充・放電をくり返す事により次第に容量（走れる距離）が少なくなりますが、これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。長くお使いいただく為に上記内容をお守りください。
  （26 ページもあわせてお読みください。）

乗るまえの点検

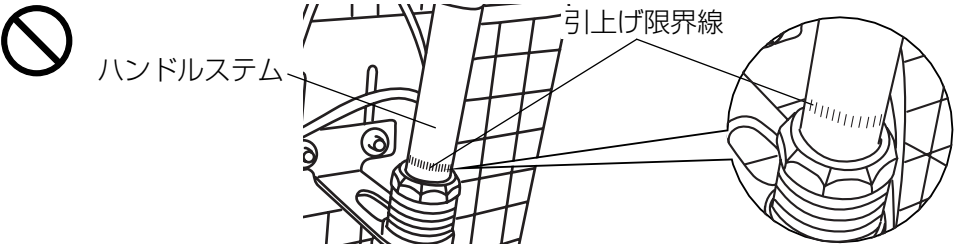
日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整を実施する習慣をつけましょう。
点検、調整後は**走行テスト**をしてください。

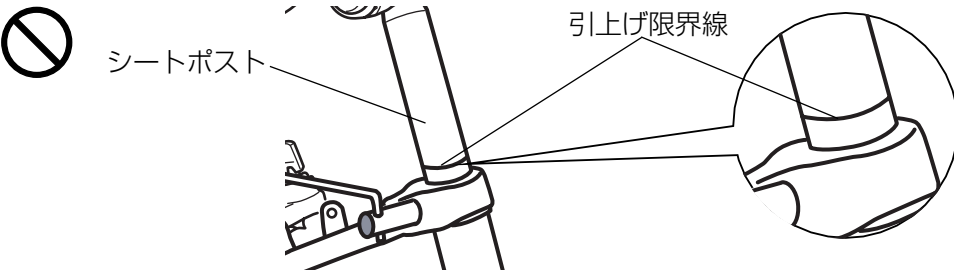
⚠警告

■ひび割れや変形したままで走行しない

折れて転倒し、けがのおそれがあります。
●続けて乗らずに、販売店で点検、整備をしてください。

⚠警告

■ハンドルステムの引上げ限界線が、見えるまで上げない

ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。
●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

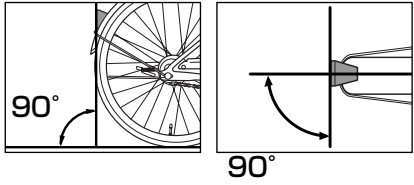
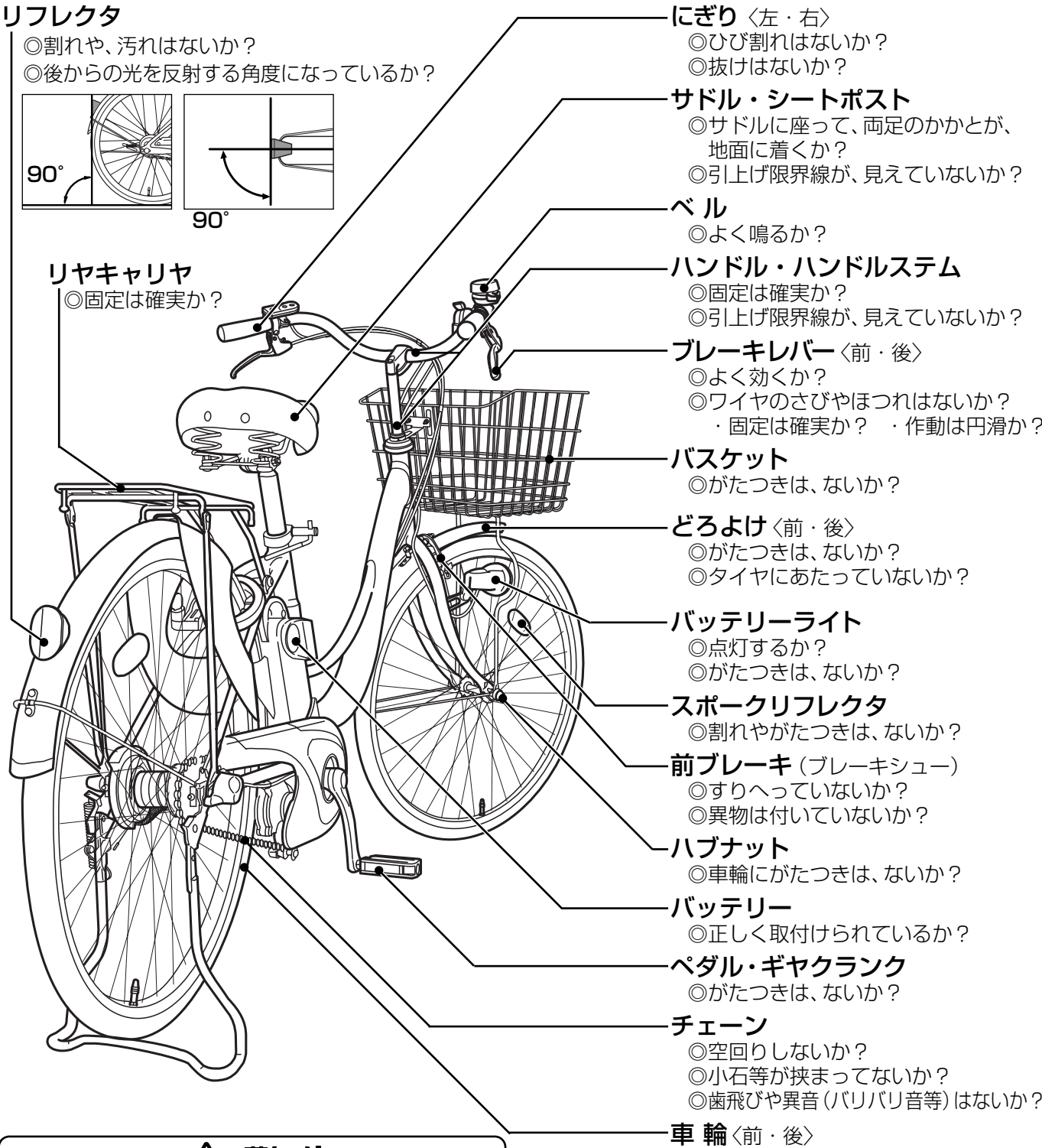
⚠警告

■シートポストの引上げ限界線が、見えるまで上げない

シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

⚠注意

■点検で異常があったときは、乗車しない

事故や転倒のおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

リフレクタ
◎割れや、汚れはないか？
◎後からの光を反射する角度になっているか？
90°
90°

リヤキャリヤ
◎固定は確実か？

にぎり〈左・右〉
◎ひび割れはないか？
◎抜けはないか？

サドル・シートポスト
◎サドルに座って、両足のかかとが、地面に着くか？
◎引上げ限界線が、見えていないか？

ベ ル
◎よく鳴るか？

ハンドル・ハンドルステム
◎固定は確実か？
◎引上げ限界線が、見えていないか？

ブレーキレバー〈前・後〉
◎よく効くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
・固定は確実か？　・作動は円滑か？

バスケット
◎がたつきは、ないか？

どろよけ〈前・後〉
◎がたつきは、ないか？
◎タイヤにあたっていないか？

バッテリーライト
◎点灯するか？
◎がたつきは、ないか？

スポークリフレクタ
◎割れやがたつきは、ないか？

前ブレーキ（ブレーキシュー）
◎すりへっていないか？
◎異物は付いていないか？

ハブナット
◎車輪にがたつきは、ないか？

バッテリー
◎正しく取付けられているか？

ペダル・ギヤクランク
◎がたつきは、ないか？

チェーン
◎空回りしないか？
◎小石等が挟まってないか？
◎歯飛びや異音（バリバリ音等）はないか？

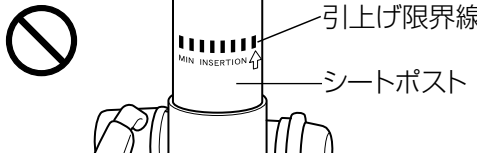
車 輪〈前・後〉
◎リム ‥‥‥振れ、変形はないか？
◎スポーク ‥曲がり、折れはないか？
◎ハブ ‥‥‥がたつきはないか？
◎タイヤ ‥‥摩耗、切傷はないか？
空気圧は適正か？
異物は付いていないか？
（☞16ページ）

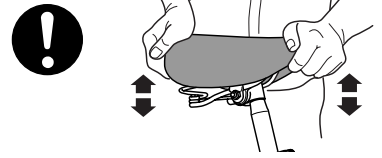
⚠警告

■乗るまえの点検は、必ず実施する。

●前後ブレーキの効き、作動の点検をする。
●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検する。
●前後車輪が、確実に固定されているか点検する。
●前後タイヤの空気圧が適正か点検する。

事故や転倒のおそれがあります。

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ サドルの調整

⚠警告

■引上げ限界線が見えるまで上げない

■調整後は必ず点検をする

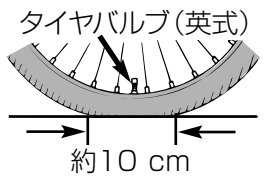
シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

●高さと向きの調整

①レバーをゆるめる。
②サドルの高さと向きを調整する。
③レバーを締める。
④がたつきやずれがないことを確認する。

●サドルの正しい方向と角度

フレームと平行に合わせる。

サドルの上面と地面を平行にする。

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

■ 空気圧の点検（前後のタイヤ）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約10 cm程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。

タイヤバルブ（英式）
約10 cm

お知らせ

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

●空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

kPa表示	350〜450
(PSI 表示)	50〜65
(kgf/cm²表示)	3.5〜4.5

※(PSI 表示)と(kgf/cm²表示)は、参考として示したものです。

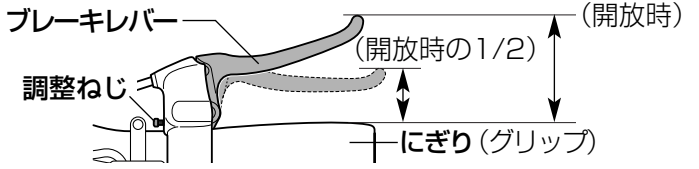
■ ブレーキの調整

⚠警告

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突の原因になります。

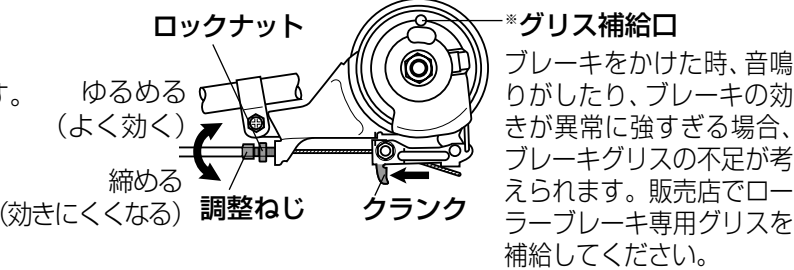
⚠注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

高温注意

●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の1／2の位置で、ブレーキが効くように、調整する

●前ブレーキ

①ロックナットをゆるめる。
②調整ねじを回す。
③走行してブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

ロックナット　調整ねじ
拡大図
締める（効きにくくなる）
ゆるめる（よく効く）

●後ブレーキ（ローラーブレーキ）

①ロックナットをゆるめる。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

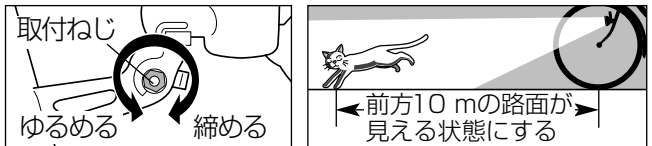
※**グリス補給口**
ブレーキをかけた時、音鳴りがしたり、ブレーキの効きが異常に強すぎる場合、ブレーキグリスの不足が考えられます。販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。

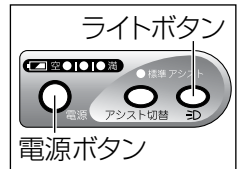
■ バッテリーライトの調整・取扱い

⚠警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

スポークに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

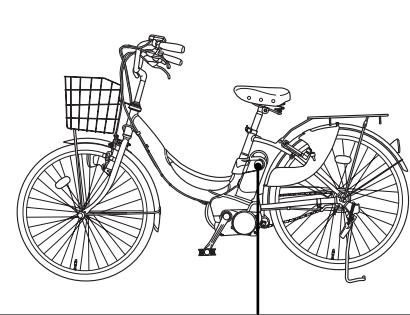
■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒のおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。

●角度の調整

破損のおそれがありますので、取付ねじをゆるめて、調整してください。

使用工具
スパナ（10 mm）又はボックスレンチ（10 mm）

●点灯方法

①電源ボタンを押す。
②ライトボタンを押す。
③点灯を確認する。
再度ライトボタンを押すと消灯します。

※アシストがなくなっても、バッテリーライトは、ゆっくり点滅してから消灯します。

バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

バッテリーの容量が、どの程度残っているか、又はどの程度充電されているかを知ることができます。
バッテリーの残量表示用ボタンを押すと、残量表示ランプが、残量を表示します。
（あくまでも目安としてご使用ください。）

バッテリー部 残量表示ランプの表示状況	バッテリー残量 20 40 60 80 100%	手元スイッチ部 残量表示ランプの表示状況
LEDランプ 5つとも点灯	約100～80 %	LEDランプ 3つとも点灯 約100～70 %
LEDランプ 4つ点灯	約80～60 %	
LEDランプ 3つ点灯	約60～40 %	LEDランプ 2つ点灯 約70～40 %
LEDランプ 2つ点灯	約40～20 %	LEDランプ 1つ点灯 約40～10 %
LEDランプ 1つ点灯	約20～10 %	
LEDランプ 1つ点滅	約10～0 %	遅い点滅→早い点滅→消灯 約10～0 %

お知らせ

●バッテリーが新品のときや、長期間使用されていないとき、又は、厳寒の日や急な坂を登ったときは、まれに、残量表示ランプが点灯していても、補助力（アシスト）が働かないことがあります。
このような時は、再度充電してください。

■走行距離の目安

満充電後、バッテリーの残量が0になるまでの目安です。（当社の実験より）
走行距離の目安は、次の条件で測定しています。
●バッテリーは新品、気温は常温20 ℃、車載質量は60 kg（乗員および荷物を合計した質量。）
●バッテリーライトは未点灯。
●実際の走行時の気象、道路、車両、運転、整備、乗り方等の条件により走行距離は変化します。
●強モードの場合、走行距離は条件により大きく左右されます。目安として標準モードの80%～70%程度。
※ 下記の表中の「標準」は、アシスト切替の選択状態を示しています。

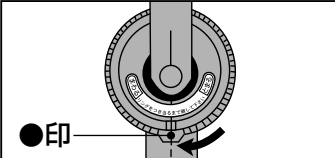
走りかた	走行距離（km） 10 20 30 40 50	走行条件
標準モード走行（業界統一テスト条件） A B C D E 5 km	27km「標準」	Aは、平坦1 km、 変速3 時速15 km/h Bは、2度坂1 km、変速2 時速10 km/h Cは、平坦1 km、 変速3 時速15 km/h Dは、2度坂1 km、変速3 時速20 km/h Eは、平坦1 km、 変速3 時速15 km/h
平坦路 連続走行	39 km「標準」	時速15 km/h 、変速3
坂道（勾配2度） 連続走行	10 km「標準」	時速10 km/h 、変速2
きつい坂道（勾配4度） 連続走行	6 km「標準」	時速 7 km/h 、変速1

※ 上記「標準モード走行」は業界で統一のテスト条件です。

お知らせ

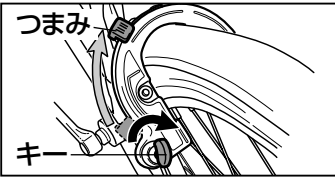
●冬期は、バッテリーの特性上、走行距離が短くなります。
●充電回数の増加と使用期間の経過に従い、1回の充電での走行距離がしだいに短くなります。
●走行距離は、道路状況や走り方により異なります。
（積載重量が10 kg増えた場合、通常にくらべ約10 %走行距離が短くなります。）
●ペダルが重くなる使い方ほどバッテリーは早く消耗します。
（走行距離をのばす為には、軽めの変速位置を選んでください。）
●充電回数が少なくても、長期間の使用により、走行距離が短くなります。

さあ、乗りましょう！（1）

1. くるピタのロックを解除する

●印を時計方向にまわし、ハンドルの固定を解除する。

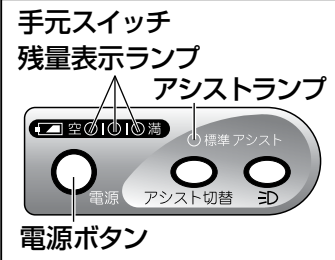
お願い

●ハンドルが固定されていないことを確認してください。

2. サークル錠を開錠する

キーを差し込み、時計方向に回す。
（走行時は、キーが付いたままになります。）

お知らせ

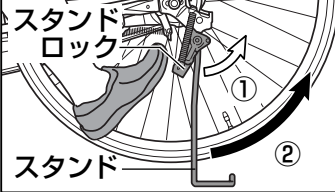
●この時ツマミは、勢い良く戻りますのでご注意ください。

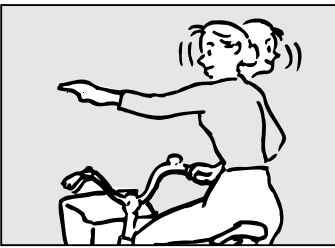
3. 手元スイッチの電源を入れる

ペダルを踏まずに、手元スイッチにある電源ボタンを押す。

残量表示とアシストランプが全点灯し、約2秒後に現在のバッテリー残量を表示します。残量表示ランプとアシストランプが交互に点滅する時は、ペダルに足を乗せないで電源を入れ直してください。（30ページ参照。）

オートオフシステム

●停止して5分以上経つと、自動的に電源が切れます。
（再度走行する時は、電源を入れ直してください。）

4. スタンドを上げてサドルにまたがる

スタンドロックを解除し、
スタンドを後方へ完全に押し上げる。

5. 発進する

前後左右の安全を確認し、ペダルを踏んで発進する。
（電動補助システムが働き、作動音がします。）

⚠注意

■けんけん乗り（けり乗り）しない

転倒や接触事故のおそれがあります。
●必ずサドルにまたがって、発進してください。

※けんけん乗り（けり乗り）とは、
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

■ ミラー付ベルについて

⚠警告

■走りながら、鏡を見ない

衝突や転倒するおそれがあります。
●停止して、ご使用ください。

お願い

●電源ボタンを押した時に手元スイッチの残量表示ランプが点灯しない場合は、バッテリーの充電や固定が確実にできているかを確認してください。
●走行中は電源を入れないでください。
●慣れるまでは、踏み始めのアシスト力に注意してください。
●停車中は、両足を地面に着けるか、又は、ブレーキをかけた状態にしてください。
●走行中に通常と異なった音がした場合は、販売店へ相談してください。
●光が反射して、目がまぶしいときは、ミラー付ベルの角度を調整してください。

お知らせ

●走行中は、ラジオ等に雑音が入る場合があります。

■荷物を積むとき

⚠警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

〈バスケット積載条件〉
●大きさ：バスケットにおさまる大きさ　●重　さ：3 kgまで
〈リヤキャリヤ積載条件〉
●高　さ　：30 cmまで　●幅・長さ：キャリヤの幅・長さプラス10 cmまで
●重　さ　：フロントバスケット・リヤキャリヤ合わせて15 kgまで（クラス表示18）
（但し、フロントバスケットは3 kgまで。）

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

お願い

●荷物の運搬には、キャリヤ及びバスケット以外は使用しないでください。
●容量の大きいバスケットやリヤキャリヤに交換しても最大積載重量は同じです。

■幼児用座席のご使用について

⚠警告

■前に幼児用座席を装着しない

ハンドル部にくるピタが標準装着されているため、ハンドル取付式幼児用座席は取り付けることはできません。

■幼児用座席なしで幼児を乗せない
■幼児の乗せ降ろしの際は、平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックをして行うこと
■幼児用座席に幼児を乗せている時は、その場を離れない

転倒による事故のおそれがあります。

●この自転車は、リヤキャリヤに幼児用座席を取付けることができます。
●幼児を自転車に乗せる際は、必ず幼児用座席を使用してください。
●但し、乗せることができるのは、6歳未満で15 kgまでの幼児、一人だけです。
●リヤキャリヤ取付式幼児用座席は、必ずクラス18表示のリヤキャリヤに装着してください。
●幼児用座席が、自転車に確実に取付けられていることを確認してください。
●走行中は、幼児の手足が車輪に巻き込まれないよう、防護ネットのついたものを使用してください。
●幼児を乗せる時は、必ず靴をはかせてください。
●幼児はセフティーベルトで固定し、落ちないように注意してください。
●万一の転倒に備え、幼児用ヘルメットの着用をお奨めします。
●詳しくは、販売店にお確かめください。

■変速のしかた

⚠警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度	12～15km/h

衝突や転倒による事故の原因になります。

■変速は、一度に2段以上しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒するおそれがあります。
●1段ずつ変速してください。

お願い

- **変速操作は、よく練習してください。**
- **変速時は、ペダルの踏力を少なくして変速してください。**
（スムーズに変速できます。）

インジケーター位置	ペダルの回転が 軽くなる	ペダルの回転が 重くなる
1	↑	↓
2	↑	↓
3	↑	↓

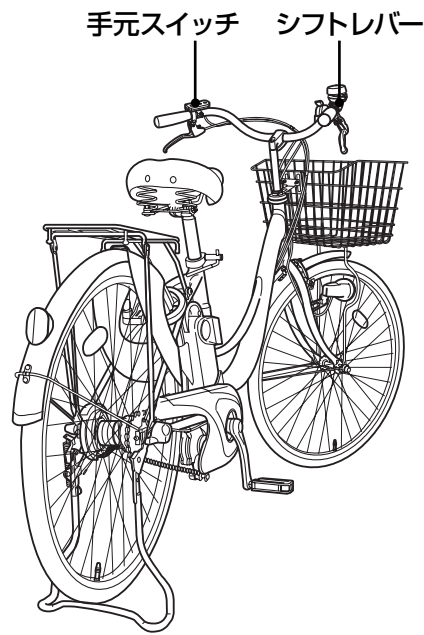
■手元スイッチ（アシストモードの切り替えかた）

アシスト「強」モード・「標準」モードの切り替えは、電源が入っていれば、アシスト切替ボタンを押すだけで切り替えができます。

アシストランプ	**消灯**…「強」モード　標準モードより楽に走行できますが走行距離は短くなります。 **点灯**…「標準」モード

アシスト切替ボタン

お知らせ

- 電源を入れた時は、「標準」モードに設定されています。
坂道や重い荷物を載せて走行する時は、アシスト切替ボタンを押し、「強」モード（アシストランプ消灯）にしてください。
- 下り坂等でペダルが軽くなると、自動的にモーターが止まり、無駄な電力消費を抑えます。

■変速機の上手な使いかた

	推奨変速位置	推奨アシストモード
平地を走るとき…	●シフトレバーを2（または3）の位置にあわせる 発進するときは、1にあわせると楽です。	点灯 「**標準**」モード 発進するときは、「**強**」モードが楽です。
上り坂のとき…	●シフトレバーを2（または1）の位置にあわせる きつい上り坂のときは、1にあわせると楽です。	消灯 「**強**」モードにする
下り坂のとき…	●シフトレバーを3の位置にあわせる	点灯 「**標準**」モード

お知らせ　走行距離をのばす為のポイント。

人にも自転車にも優しくするのがコツです。
- タイヤの空気圧はいつも適正にする。（16ページ参照）
- 軽くスムーズにペダルを回し、軽めの変速位置を選ぶ。（特に発進と上り坂。）
- **変速機やアシストモードは、坂や風の状態、体調等によって、最適の位置を選んでください。**

■ブレーキのかけかた

●ブレーキのかけ方

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

お願い

- **急な坂道のときは、降りて押してください。**
- **下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。**

⚠警告

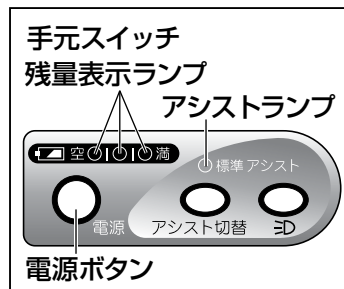
■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

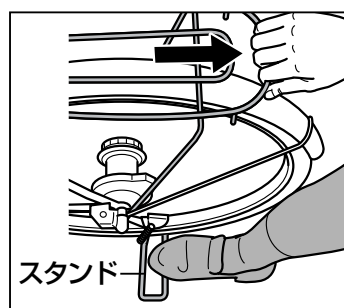
- **下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。**
- **急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。**

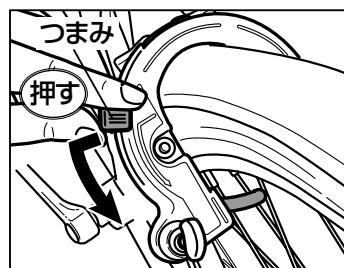
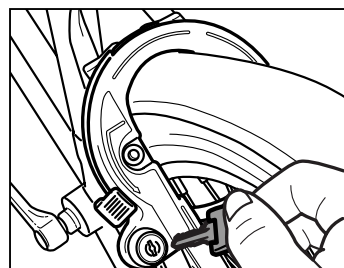
乗ったあとの駐輪・施錠

リフレッシュ充電機能

1 手元スイッチの電源を切る

手元スイッチにある電源ボタンを押して、電源を切る。

残量表示ランプとアシストランプが消灯する。

2 スタンドをたてる

スタンドを足で踏みながら、リヤキャリヤを手でひっぱって、スタンドを立てる。
（スタンドロックが自動的にかかることを確認してください。）

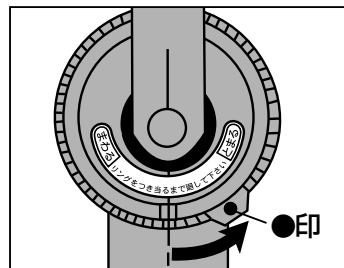
3 サークル錠を施錠する

① サークル錠のつまみを下へ止まるまで回し、施錠する。

② キーを抜く。

お願い

- ●盗難防止のため、キーを付けたまま駐輪しないでください。
- ●駐輪場など、決められた場所に駐輪してください。

お知らせ

- ●開錠方法は、20ページをご覧ください。

4 くるピタをロックする

●印を反時計方向にまわし、ハンドルを固定する。

お知らせ

- ●「くるピタ」は、ハンドルを固定することにより、駐輪する時（特に坂道や、バスケットに荷物を入れた場合）のハンドルのふらつきや回転を防止します。

■自動リフレッシュ充電機能

バッテリーの状態を判断し、充電器が自動的にリフレッシュ充電を行います。
リフレッシュ充電に入ると、充電器のリフレッシュランプは、緑色点灯します。
自動リフレッシュ中に、充電器のリフレッシュボタンを1度押すと通常充電に切り替わり、(リフレッシュランプの緑色から充電ランプの赤色に変わります。) 自動リフレッシュ充電は、次回に持ち越されます。

リフレッシュ充電とは

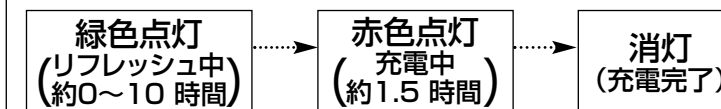
バッテリーは、消費分のみ充電する「継ぎ足し充電」を続けると、充電しても走行距離が、短くなる場合があります。
リフレッシュ充電は、バッテリーの性能を回復させるため、一度放電させた後、充電を行なうものです。

■手動でリフレッシュ充電をする場合

※何回充電しても**走行距離が短く感じるようになった場合**、バッテリーを交換されるまえに、**リフレッシュ充電されること**をお勧めします。

1 電源プラグをコンセント（AC100 V）に差込み、充電器にバッテリーを奥まで押し込む。

2 充電ランプが赤色点滅または点灯している時（接続して4分以内）に、リフレッシュボタンを押す。

充電器のリフレッシュランプが緑色点灯することを確認する。

3 充電完了（ランプ消灯）を確認し、充電器を押さえながら、バッテリーを外し、コンセント（AC100 V）から電源プラグを抜く。

お知らせ

- ●**接続後（手順1）で、4分以上過ぎますとリフレッシュ充電ができません。**
（通常充電になります。バッテリーをはずして、やり直してください。）
- ●バッテリーの残量が少ないほど、リフレッシュ時間は短くなります。
（満充電状態から行うと長時間（**最長約10 時間**）かかり、エネルギーのムダ使いになりますので、なるべく避けてください。）
- ●リフレッシュ充電をしても、走行距離が著しく短いときは、バッテリーの寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリー

■バッテリーの種類は、ニッケル水素電池です。

特性は、
- ●充放電ができ、鉛バッテリーに比べ、大きな電流を最後まで引き出せます。（高性能と高信頼性）
- ●大部分の部品が、リサイクル可能です。

品番は、
- ●NKY200B02です。

■バッテリーの交換は、

- ●ご購入の販売店にご相談ください。

古いバッテリーは、リサイクルのために必ずご購入の販売店へお渡しください。

使用済みの充電式ニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

■寿命の目安

充電回数は、約500回位、使用期間は、約2年間が目安です。
（走行状況や気温・充電の仕方、使用期間等で異なります）

お知らせ
- ●１回の充電で、走行できる距離が著しく短くなったときが、交換の時期です。（約6 割以下）
- ●バッテリー寿命の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。

■長期保存する場合は、バッテリーを長くお使いいただく為のポイント。

- ●満充電してください。
- ●**望ましい周囲気温は10 ℃〜30 ℃です。**
- ●**3ヵ月以上の長期保存の場合は、最低3ヵ月に1回充電してください。**
（自己放電による性能劣化や漏液予防のため）

お手入れ

■日常のお手入れは、

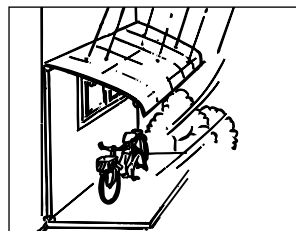
- ●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
洗車は、しないでください。
- ●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

■湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

お願い
- ●**シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）**
- ●**サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）**
- ●**雨天走行後は、前リム側面のブレーキシュー接触面の砂や泥をふきとってください。（黒く変色するのを防ぎます。）**

保　　管

■保管場所は、

- ●**安定のよいところ。**
- ●**風通しがよく、湿気のないところ。**
- ●**雨つゆや直射日光が当らないところ。**

■タイヤには、

空気を十分に入れてください。（☞ 16ページ）

廃　　棄

■廃棄するときは、

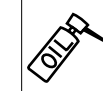
自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

注　　油

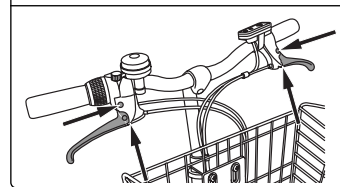
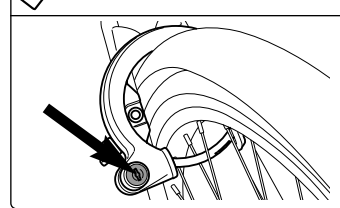
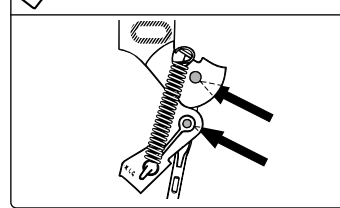
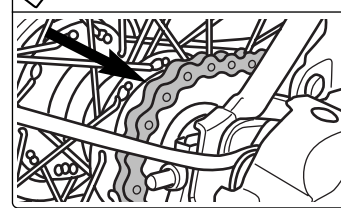
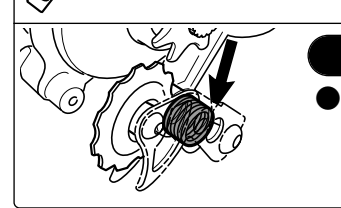
⚠警告

■リムやブレーキシュー（ゴム部）には、油をつけない

注油禁止

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒のおそれがあります。

このマークは、**注油場所**を示します。

このマークは、**注油禁止場所**を示します。

お願い
- ●**油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。**
（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
- ●**余分な油は、乾いた布でふき取ってください。**

●ブレーキレバー〈前・後〉
レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。
（ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。）

●サークル錠
キー穴に注油。
（さびによる動作不具合を防ぎます。）

●スタンド
可動部に注油。
スタンドロックの裏側の2本のカシメ部分

●チェーン
クランクを回しながら注油し、余分な油はふき取る。
（サビやほこりがつくのを防ぎます。）

●テンションプーリー
お願い
●**メンテナンスをする場合はグリスを使用してください。**
テンションプーリーのバネ部にグリスを塗布。

後ブレーキ（注油禁止）
お願い
●**メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。**
（☞ 17ページ）

前ブレーキ（ブレーキシュー）（注油禁止）

リム〈前・後〉（注油禁止）

タイヤ〈前・後〉（注油禁止）
ついた油は、すぐ拭き取る。
（ひび割れなど老化を防ぎます。）

チェーンケース（注油禁止）
ついた油は、すぐ拭き取る。
（変色や塗装がはげるのを防ぎます。）

定期点検／アフターサービスについて

定期点検

⚠警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2 年に1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
●ブレーキゴムは、溝の残りが、1 mm になる前に交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

点検と整備は、『キュート ViVi』の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2ヵ月目）点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2ヵ月目）の点検と整備

お買い求め2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店又は修理代行店で、点検・整備をお受けください。

●2回目以降（6ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検	定期点検をし、安全走行をしましょう！
	こんな症状はありませんか ●異常音がする ●がたつきやゆるみ ●車輪の振れ ●ブレーキの効きが悪い

お願い

●点検・整備は、お買い求めの販売店で行ってください。
●点検用のシートは、保証書の裏面に用意しておりますので、ご活用ください。

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、	お買い求めの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い求めの販売店までお持込みください。
●保証期間が過ぎた後は、	お買い求めの販売店にご相談ください。修理すると使用できる製品は、ご希望により修理させていただきます。

盗難補償／基準適合TSマーク

盗難補償について

盗難補償制度とは、「キュート ViVi」をお買い求めいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込み）の30パーセントと組立手数料4,200円（税込み）で、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カード（メーカー返送用）をご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い求めの日から１年間の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の内容

■お客様のご負担　①充電器を除く本体の希望小売価格（税込み）の30%
②組立手数料　4,200円（税込み）

（3）盗難補償の申込み要領

■提出書類　①盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバー又は盗難届出証明書等）
②盗難車の保証書
③盗難車のキー（2本）
④盗難補償申込書（販売店が用意いたします。）

■申込み先　お買い求めの販売店へ現金を添えて、お申し込みください。
追って、販売店から新車を、お渡しいたします。

（4）盗難車の所有権

盗難車が発見された場合は、その所有権は当社に帰属することを同意の上お申し込みください。

（5）盗難補償ができない場合

①（3）の書類がそろわない場合　②防犯登録がされてない場合
③補償期間が過ぎている場合　④景品などの贈呈品の場合
⑤盗難補償車が再度、盗難にあった場合　⑥盗難補償登録カードが返送されていない場合
⑦盗難車が見つかり、返ってきた場合　⑧無施錠で盗難された場合

お知らせ

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。

基準適合TSマークについて

自転車安全整備店で点検整備を行い、基準に適合した安全な自転車にこのマークを貼ることができます。
このマークには、傷害保険と賠償責任保険が付帯されており、万一の事故の際に利用することができます。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。
（**工場出荷時に貼付しているTSマークには、保険は付帯されていません。**（11ページ参照。））

お願い

●点検　年　月　日が記入されていない場合は、
必ず、お買い求めの販売店に記入してもらってください。記入されていない場合は、保証されないときがあります。

故障かな…？！

まず、次の表に従ってお調べいただき、直らないときは、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

症 状		対 処 方 法	ページ
ペダルが重い	手元スイッチのアシストランプ、残量表示ランプが点灯しない	●バッテリーが確実に取り付けられていますか？ ⇨バッテリーを確実に取り付けてください。	12
		●バッテリーのヒューズが切れています。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。	――
	手元スイッチの残量表示ランプが早い点滅をしたり、点灯しない	●充電ができていますか？ ⇨バッテリーを充電してください。	12〜13
	手元スイッチの残量表示ランプとアシストランプが交互に1回ずつ点滅する	●ペダルを踏みながら、電源ボタンを押しませんでしたか？ ⇨ペダルを踏まないで、電源ボタンを押して、ONの状態にしてください。	20
	手元スイッチの残量表示ランプが3回、アシストランプが1回の割合で点滅する	●走行中に発生した場合は、過負荷が考えられます。 ⇨電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。直らない場合は販売店にご相談ください。	20
	手元スイッチの残量表示ランプが2回、アシストランプが1回の割合で点滅する	●アシストシステムの異常です。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。	――
	補助（アシスト）が切れたり入ったりする	●配線がゆるんでいたり、端子が汚れていませんか？ ⇨販売店にご相談ください。	――
	補助（アシスト）しない	●停止して5分以上たっていませんか？（オートオフシステム） ⇨電源ボタンを入れ直してください。	20
ペダルに振動を感じる		●ペダルに足を乗せた状態での停車時に振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性ですので、故障ではありません。	――
充電できない	充電器の充電・リフレッシュランプが点灯しない	●電池が正しく挿入されていますか？ 充電器の電池挿入部がよごれていませんか？ ⇨よごれを取り除き、電池を正しく挿入してください。	12〜13
	充電器の充電ランプが「待機」表示（赤色点滅）のままで「充電」表示に切り替らない	●バッテリーが、初めての使用だったり、長期間使用していなかったのではないですか？ ⇨数分後、自動的に切り替ります。	――
		●バッテリー内の温度が0℃〜40℃の範囲外になっている。 ⇨温度が0℃〜30℃の場所に移し、約2時間待ってください。	13
		●ヒューズが切れています。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。	――
	充電器の充電・リフレッシュランプが赤色と緑色の交互に点滅をする	●充電を始めて3時間以上たって発生した場合 ⇨充電をやり直してください。	12〜13
		●充電を始めて3時間以内に発生する場合は、異常です。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。	――

症 状		対 処 方 法	ページ
走行距離が短い	手元スイッチの残量表示ランプが短い走行で点滅を始める	●充電ができていますか？ ●長期間使用せずに、放置されていませんでしたか？ ⇨バッテリーを充電してください。	12〜13
		●初めて使用するバッテリーではないですか？ ⇨バッテリーを充電してください。	12〜13
		●道路条件や変速位置、苛酷な走行により、走行距離が、短くなります。	19
		●冬期は、バッテリーの特性上容量の低下が大きくなります。	――
		●タイヤの空気圧が低下していませんか？ ⇨自転車用ポンプを使って空気を入れてください。	16
		●ブレーキの調整は正しくできていますか？ ⇨ブレーキの調整をしてください。	17
バッテリーや充電器が熱くなる（発火の心配）		●充電中、充電器は多少熱くなります。 ⇨異常ではありません。	――
		●手で触れられないほど熱い場合は、異常です。 ⇨ただちに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。	――
充電が完了したのに残量表示ランプが5個全部点灯しない		●充電途中で電源プラグを抜きませんでしたか？ ⇨再度充電してください。	12〜13
		●充電器の端子が汚れていませんか？ ⇨乾いた布等で清掃してください。	――

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電　話（　　　）　　―
品　番	車体番号
キー番号	防犯登録番号

仕　様

品　　番		BE-EHT63
寸法	全　　長	1,870 mm
	全　　幅	595 mm
	サドル高	760〜880 mm
	タイヤ形状	26×1 3/8 WO
	軸間距離	1,157 mm
総車両質量		23 kg
フレーム		S字シングルループ型（アルミ製）
ハンドルバー		プロムナード（ステンレス製）
バスケット		標準装備（ステンレス製）
リフレクタ		後どろよけに取付
スタンド		両立スタンド
補助速度範囲 シフトレバーの位置3		24 km/h 未満
充電1回の走行距離（標準モード走行）		27 km
モーター形式		直流ブラシレスモーター
	定格出力	240 W
補助力制御方式		踏力比例制御
バッテリー	品番	NKY200B02
	種類	ニッケル水素電池
	容量	24 V―2.8 Ah
	質量	1.6 kg
充電器	品番	NKJ021
	形式	スイッチング・レギュレーター式・自動リフレッシュ付
	電源	AC100 V（50 Hz／60 Hz）
	充電時間	約 1.5 時間
	質量	0.7 kg
	消費電力	81 W
	待機消費電力	約 1.5 W
変速機方式		内装3段シフト（ピアノタッチ）
駆動方式		チェーン式
制動装置	前輪	サイドプル式キャリパーブレーキ
	後輪	ローラーブレーキ
照明装置		バッテリーライト式前照灯
施錠方式		サークル錠
乗員適応身長		142 cm以上

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。

●寸法や質量等の値は、部品のばらつきや仕様変更により、2 %程度の誤差が生じる場合があります。

●仕様変更などにより写真、イラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

●電池寿命は、約500 回の充・放電または、約2 年が目安です。
このときの電池容量は、初期の約60 %に低下します。（保証回数・期間ではありません。）

●この車種は、乗員体重を65 kgで基本設計しています。
従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなり、また、走行距離が短くなります。